

# 将来を見据えて伯耆町の学校教育を考える

## 伯耆町学校教育検討会開催

伯耆町内の各学校では、「子どもたちの「生きる力」を育むために教育目標を定め、家庭・地域との連携を図りながら、創意工夫した特色ある学校づくりがなされています。しかし、児童生徒数は毎年減少しつつあり、学校や学級の児童生徒数が極端に少なくなると、教育への影響も懸念されます。

また、校舎等については、耐震診断を受けての補強と改修も課題となっています。

そこで、心豊かでたくましく生きる児童生徒の育成のため、学校教育関係者や保護者、地域の方々からなる「伯耆町学校教育検討会」を設置し、今後の学校教育の体制やあり方、学校の姿等、児童生徒数が減少する中での教育の充実方策等について、検討していただくことになりました。



勝部教育委員長(左)から西村会長(右)へ諮問書が手渡されました

### 教育委員会からの諮問事項

- 学校教育の振興に関すること  
児童生徒数が減少する中での学校教育の充実方策について
- 学校の校区に関すること
- 学校の校舎及び体育館の耐震化等補強・改修に関すること

### 検討会の意見と今後の活動

- 「学校教育の振興に関すること」を中心に幅広く議論していきたい。校区や学校施設については、その後もよいと思う。まず、子どもたちへの教育がどうあるべきかではないか？
- 安易な学校統合ではなく、統合による良い面と悪い面、小規模校

### 【児童生徒数の推移】

伯耆町における小学校の児童数は、平成元年度に1,054名であったものが平成19年度には615名に減少。

また、中学校の生徒数は平成元年度に532名であったものが平成19年度には357名となり、それぞれ大きく減少しています。

表1 小学校別児童数調べ

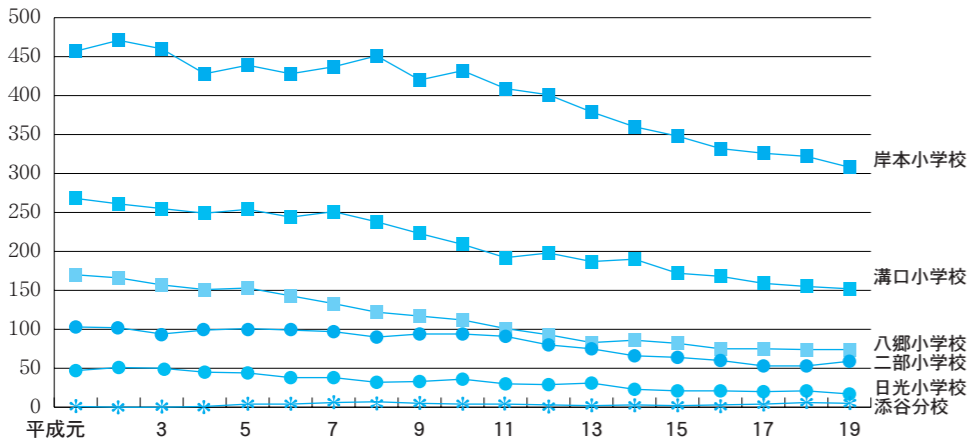
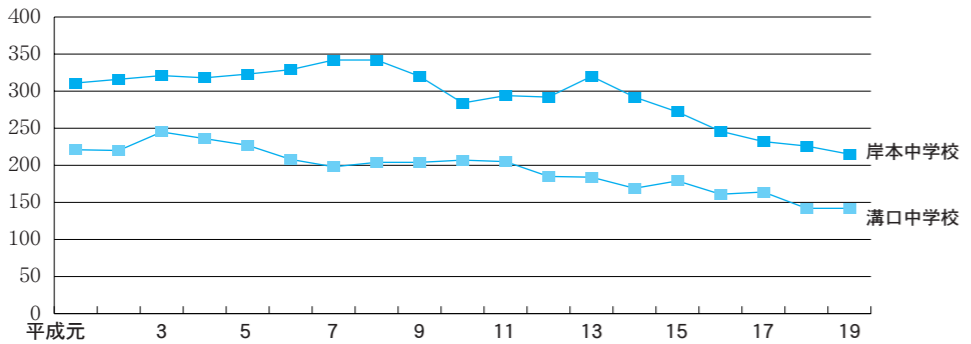


表2 中学校別生徒数調べ



の利点や地域の特性なども把握する必要があると思う。

● 学校統廃合の議論はさけて通れないと思うが、地域や保護者の意見をよく聞いて住民の声を教育行政に反映してほしい。

● 検討会の内容を町民に公開し、町民に知ってもらいたい。

委員の意見を受けアドバイザーから次のような助言をいただきました。

この学校教育検討会で、伯耆町の教育のあるべき姿をどう描くか、それが魅力あるものなら、どんどん前に進む。

伯耆町で育った子どもたちが、将来「伯耆町で暮らしたい」「自分たちの子どもを伯耆町で教育を受けさせたい」と言えるように、現在だけでなく未来を見据えて話し合ってください。

また、町民のみなさんに広く関心を持ってもらった上で、町民みんなが伯耆町の教育について考えていく機運を盛り上げてほしい。

### ● 問い合わせ先

伯耆町学校教育検討会事務局  
伯耆町教育委員会事務局内

☎ 6210927



検討会の様子(左から井上委員、大木委員、景山委員、金田委員)



第1回検討会の様子(溝口公民館)

### 伯耆町学校教育検討会のみなさん

会長	西村 忠	(坂 長)
副会長	箕矢 静人	(栃 原)
委員	井上 誠行	(溝口小学校)
	大木 寿之	(岸 本)
	景山 英明	(金屋谷)
	金田 真由美	(上細見)
	住田 泰	(福 岡)
	中曾 喬至	(坂 長)
	永井 欣也	(畑 池)
	山西 修子	(丸 山)

### 検討会アドバイザー

矢部 敏昭  
(国立大学法人 鳥取大学 地域学部教授)